

保育園・こども園・幼稚園 入園にあたって

<園の生活に慣れよう>

☆登園

- ・ ゆっくりと時間に余裕をもっていきましょう。

☆朝の支度

- ・ 少しずつ自分で出来るように促していきましょう。
- ・ 泣いても明るくバイバイをしましょう。

☆自由遊び

- ・ ここにいると安心・ここでは楽しく遊べるよ などが早く見つかるといいですね。



☆給食

- ・ 嫌いなものは無理をさせないと思いますが、一口から始めるというパターンが多いようです。

☆午睡

- ・ 安心できないうちは、寝てこないと思ってください。でも、夜遅く寝て、朝遅く起きたのでは、生活のリズムは作れません。生活のリズムは朝の早起きからです。これは家でのお仕事です。



☆降園

- ・ 登園の時に泣いていても、降園の時に泣いていなければ大丈夫。でも、泣いていたら（泣きっぱなしで一日過ごしているようならば・・・）時間を短くしてもいいと思います。
- ・ お迎えは、先生とお話の時間をとりましょう。子どもには笑顔で迎えましょう。



※ 流れがつかめないうちは、不安が先にたってしまいます。一日の流れがわかってくると、落ち着いて参加できるようになってくると思います。

<みんなで一緒というのは、生活面から>

- ・ みんなで一緒にトイレに行こう。（時間排泄）
- ・ みんなで一緒に給食を食べよう。（おいしそうに食べるモデル）
- ・ みんなで一緒に着替えよう。（着替えの見本でやり方もわかる。）
- ・ みんなが動くからわたしも。みんながここにいるからぼくも。



<園で出来たことを家でも試してみよう>

園では、「今日は〇〇ができました。〇〇を食べれました。」など、今までの家での生活では考えられなかったことが出来るようになります。

それは、「みんながやるから、ぼくも。」という集団の力だったり、「園だから出来ちゃった。頑張れちゃった。」ことなのかもしれません。

園で出来たことは、家でも必ず出来るはずだと思わないでください。家で試してやっぱり出来なかったとき、先生にどんなマジックを使ったのかと聞くぐらいでちょうどいいのです。すばらしいヒントが隠れていることもあると思います。

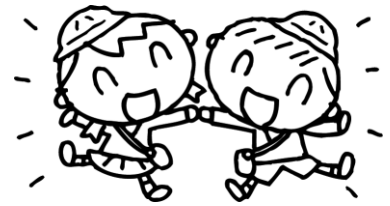
出来ないということは、「家で甘えが出てやらないけれど、園では頑張れる」という、使い分けが出来ているというようにも考えられます。



<友達の前に、まずは先生>

年少の頃や入園当初は、まだ周りの子どもたちも園生活に慣れるので精一杯です。

まずは、先生との関係作りから始めましょう。友だちとの関係作りは、年中、年長になってからと、長い目で見ていた方がいいと思います。



<先生との良い関係作りを>

先生が、いろいろ気づいたことや今日の出来事などをお話してくれると思います。

こちらでも家での様子などを話しながら、一緒に喜んだり、相談したり、されたりなど、良い関係を作りたいですね。

降園時、今日の様子などを是非、聞いてみてください。



<子どもの気持ちを育てるのは家庭で>

家から離れ、大好きなお母さんとも離れ、子どもたちは園へすごく緊張しながら頑張っている。

「今日は、何をしたの?」「何を食べたの?」などと聴きたいことはいっぱいありますが、質問攻めは避けて、家では「楽しかった?」くらいで良いと思います。行事などのような「明日は〇〇があるよ。」というのは、たくさん伝えてあげてください。気持ちの安定を図るのが、家でのお仕事です。



<入園までにしておきたいこと>

「おむつをはずして、何でも一人で食べれるように。」
なんて、あと2週間で考えると、母子ともにプレッシャーでつぶされてしまいます。

出来ていないことは、園に入ってからやっ払いこうというくらいでちょうどいいのです。「ちゃんとやらないと、〇〇園には行けないよ。」なんて言っていないですか。

園生活に期待を持たせるようなカバンや帽子を見せたり、自分のマークを覚えるなど、遊びの中で身の周りのことを経験させてあげてください。朝同じ時間に起きるなど生活リズムをつけることも、今からなら間に合います。

また、外での活動が多くなるため、屋外で楽しめる遊びをいっぱい経験させてあげてください。



<最後に>

- ・ 先生と仲良く。
- ・ 子どもがいないときには、母親もリフレッシュを。
- ・ 理由がある付添いは、積極的に。
- ・ 母親同士の関係作りを。(トラブルがあったときに、役立ちます。)